

# “子どものため”の本質を問う授業づくり

「グローバル人材の育成」「英語・道徳の教科化」「ICTの活用」…。めまぐるしく変化する社会において、今、教育現場に様々な役割が求められています。その中で、何をめざして実践することが本当に“子どものため”になるのでしょうか。

私たちは、子どもを「成長・発達の主体者」とであると捉え、その権利を守り発展させる授業づくりをめざすことが、子どものためであると考えています。ひとつひとつの授業の中で出会わせる教材が、子どもたちをなかまとともに成長・発達させるものであるかどうか、そのことを追究しています。

第42回教育研究会では、参会者のみなさんと授業を通して教材の価値について話し合い、今、本当に大事にすべき“子どものため”とはどういうことなのかを深め合いたいと思います。みなさんの率直なご意見・ご批判をお聞かせ下さい。

■ 日時

2015年11月21日(土)

■ 会場

奈良教育大学附属小学校

〒630-8301

奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学構内  
(奈良交通バス「高畑町」バス停下車すぐ。裏面参照)

☎0742-27-9281



■ 日程

8:30	8:50	9:30	9:45	9:55	10:35	10:50	12:20	13:20	15:20
受付	公開授業	移動	参観の視点	研究授業 〔各教科・特別支援学級〕	移動	分科会 〔各教科・特別支援学級〕	昼食	全体会 〔基調報告および講演〕	

■ 申し込み **Fax か e-mail で、11月13日(金)までにお申し込み下さい。**

o Fax をご利用の場合は、裏面の申込用紙にて送信して下さい。 Fax:0742-27-9283

o e-mail をご利用の場合は、本校ホームページ [URL <http://www.nara-edu.ac.jp/ES/>] から申込用紙をダウンロードしていただき、**[fusho-kenkyu@nara-edu.ac.jp]**宛に、件名を「研究会参加申込」として、添付送信してください。

(当日申し込みもできますが、資料に限りがありますので、できるだけ事前にお申し込みください。)

■ 資料代

2,000円(学生・院生は1,000円) ※実践集代を含みます。

■ 後援

奈良県教育委員会  
各市町村教育委員会(奈良市・大和郡山市・生駒市・天理市・桜井市・宇陀市・山添村・伊賀市・木津川市・精華町・相楽東部広域連合教育委員会)

■ 協賛

奈良教育大学教育研究支援機構・附属小学校PTA・つめくさ会(附属小学校教育後援会)

【裏面に、地図とFAX用申込票があります】

## 授 業

【公開授業】 8 : 50 ~ 9 : 30

クラス	教科など	授業者	題 材	クラス	教科	授業者	題 材
1 1年1組	国語	菱井 一宏	『たぬきの糸車』岸なみ作	9 4年3組	理科	石高 一樹	昆虫の体のつくり
2 1年2組	生活	林 綾	「うちの人のしごと」	10 5年3組	家庭	平野 江美	「衣服の着方」
3 2年1組	算数	谷垣 明伸	かけ算（九九）	11 6年1組	体育	石川 元美	「キャッチバレー」
4 2年2組	算数	大宅 香織	かけ算（九九）	12 6年3組	音楽	米森真理子	音楽劇『風と川と子どもの歌』 木村次郎作詞・丸山亜季作曲
5 2年3組	生活	勝原 崇	スジエビ				
6 3年1組	図工	植田 遥	「給食当番」（生活画）	13 特別支援 学級	ことば	佐野 直樹	絵本（動作化を通して わかる）
7 3年3組	図工	吉川 奈緒	「そうじ」（生活画）				
8 4年2組	学活 食の学習	松田 優衣 阪口 美香	「食べ物のはたらき」	14	ことば	猪澤由起子	詩

◆参観の視点 / 9 : 45 ~ 9 : 55（研究授業のねらいや参観していただきたい観点などをお伝えします）

【研究授業】 9 : 55 ~ 10 : 35

教科	クラス	授業者	題 材
A 国語	6年3組	入澤 佳菜	『川とノリオ』いぬいとみこ作
B 生活	1年3組	花岡 晶子	「うちの人のしごと」
C 算数	4年1組	大谷 陽子	分数
D 理科	6年2組	井上 龍一	ヒトの体とくらし
E 音楽	5年3組	磯田 由香	音楽劇『魔笛』シカネーダー作詞・モーツァルト作曲・伊藤武雄訳詞
F 図工	5年1組	小野 はぎ	「自転車」（観察画）
G 家庭	5年2組	平嶋 憲子	「くつ下のせんたく」
H 体育	3年2組	井上 寛崇	ネット型ゲーム
I おんがく	特別支援学級	北村 直子・猪澤由起子・篠崎 詩織・堀名 瑞希・川崎 未歩	イメージをもって歌ったり身体表現したりできる歌

## 分科会

10 : 50 ~ 12 : 20（授業についての討議などをおこないます）

教科	分科会 テーマ
A 国語	読むことを通してことばのむこうの〈他者〉と出会う
B 社会	家族のくらしを支える「うちの人のしごと」の授業づくり
C 算数	今の子どもたちがわかる授業をめざして～量を背景にした分数～
D 理科	小学校の生物学習で生物の本質にせまる子どものための授業づくり
E 音楽	高学年の子どもたちの歌声を高め、思いをこめて歌える授業
F 図工	表現と子どものくらしのむすびつき - 絵画領域で -
G 家庭	衛生的な着方に目をむけた衣生活の授業づくり
H 体育	ネット型ゲームでどの子にも学ばせたいことと教材づくり
I おんがく (特別支援学級)	イメージをもって歌ったり身体を動かしたりして表現するおんがくの授業

〔昼食 / 12 : 20 ~ 13 : 20 ※弁当は要予約（800円・お茶付き）〕

## 全体会

13 : 20 ~ 15 : 20

### ◆基調報告

### ◆講演 「なぜ文学教育が必要か - 他者と出会わせる - 」

講師 / 藤原 和好氏（三重大学名誉教授・語り合う文学教育の会）

著作：「語り合う文学教育—子どもの中に文学が生まれる」「言葉との出会い—文学の表現を読み味わう」「詩との出会い・語り合い—詩の授業入門」「子どもが生きる文学の授業／教室の主役たち」など多数